

2009春日井市民第九演奏会



2009.12.6(日)

15:00開演[14:00開場]
春日井市民会館 全席自由 1000円



指揮
ゲルリット・プリースニッツ



ソプラノ
腰越満美



アルト
大田亮子



テノール
真野郁夫



バリトン
呉 承容

曲 目 ■ ベートーヴェン
交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」
管 弦 楽 ■ 春日井市交響楽団
合奏指導 ■ 加藤完二
合 唱 ■ 春日井市民第九合唱団
合唱指導 ■ 吉川 朗

チケットお取扱い場所 [10/8(木)より発売]

■ 文化フォーラム春日井 (2F文化情報プラザ)
■ 春日井市役所 (2F情報コーナー)
■ 東部市民センター
■ ふれあいセンター (味美・高蔵寺・南部・西部)
■ 坂下公民館

主催：春日井市・春日井市教育委員会・(財)かすが市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会
共催：春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団
後援：中部大学・中日新聞社

お問い合わせ：春日井市民第九演奏会実行委員会 TEL0568-51-1111 春日井市文化スポーツ部文化課 TEL0568-85-6079

指揮 ゲルリット・プリースニッツ Gerrit Priesnitz

ボン生まれのドイツの若手指揮者。現在、ウィーン・フォルクス・オペラで常任（レジデンス）指揮者を務めています。ザルツブルクのモーツァルトテウムでデニス・デーヴィストヨルゲ・ロッターに指揮を学び、パウムガルトナー賞を受賞。EUのエラスムス計画とオーストリア基金から奨学金をえました。マスタークラスでイエナ・フィルを指揮。その他、クリスチャン・チンマンやクラウス・フローの助手として、ドイツ各地で指揮

活動を始めました。その後、ボローニャやリンツやルツェルンの歌劇場でオペラやオペレッタを指揮して活躍。エルフルト歌劇場の常任を経て、現職へ。レパートリーは、モーツァルトやリヒャルト・シュトラウスのオペラをはじめとして、レハールやカールマンのオペレッタまで、数多くの舞台作品を含み、チャイコフスキーから現代音楽家にいたるオーケストラ作品も指揮しています。

ソプラノ 腰越 満美 Koshigoe Mami

東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時最優秀賞及び川崎靜子賞受賞。文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として、イタリアに留学。95年フェッルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクール第1位。オペラでは、『コズィファン・トゥット』デスピーナ、『修道女アンジェリカ』タイトルロール、『ラ・ボエーム』ミミ、ムゼッタ、『カルメン』タイトルロール、ミカエラ、『トスカ』タイトルロール他、オペレッタでは『チャールダーシュの女王』、『ボッカチオ』、『メリー・ウイドー』、『ごもり』、『ウイーン気質』等にいずれも主役で出演。二期会本公演には、『学生王子』女王マーガレットでデビュー後、『フィガロの結婚』にスザンナ役、『蝶々夫人』のタイトル・ロール、『メリー・ウイドー』の主役ハンナ、また注目の宮本亜門演出、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『フィガロの結婚』伯爵夫人役を見事に演じ切って絶賛を博した。07年は『天国と地獄』ユリディスを演じる。新国立劇場には、97年劇場オープニング記念オペラ『建・TAKERU』で夏乃役以降、『天守物語』に萩役、『マノン』でゼット役、『花言葉』でロンター役、『ドン・ジョヴァンニ』でドンナ・エルヴィーラ役と立て続けに出演。二期会・新国立劇場共催公演『忠臣蔵』に綾衣役、『鳴神』（演出：市川團十郎）雲の絶間姫役、最近では08年2月山田耕祐『黒船』にお吉役で出演、次々と大舞

台の主役を務め、オペラ公演には欠かせぬ存在となっている。海外では、イタリアで『愛の妙薬』アディーナ、『アンドレア・シェニエ』マッダレーナを歌った他、イタリア、オーストリアの各地でリサイタル、コンサートに出演。また、05年には中米・コスタリカ国立交響楽団によるオペラ公演『蝶々夫人』にタイトル・ロールで招聘され、日本を代表するプリマ・ドンナとして絶賛された。ここ数年はハノイのベトナム国立交響楽団にもマラー交響曲第2番、第4番、第8番などで招聘されている。その他、国内主要オーケストラとの共演も多く、シュベルト「Gdurミサ」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベルゴレージ「スターバト・マテル」、フォーレ、ヴェルディの「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、ハイドン「ネルソン・ミサ」他、ソプラノ・ソロを歌う。NHK総合「日本うた絵巻」、「NHKニューイヤー・オペラコンサート」（ジョン・ミュンフン指揮）、日本テレビ「題名のない音楽会」などテレビにも数多く出演している。また、01年ビクターよりCD「マイ・フェイヴァリット・ソング」をリリースすると同時に、自身の企画によるジャズ・ポピュラーのみのリサイタルを開催。08年には武満徹歌曲集「武満徹：SONGS」をカメラータウキョウよりリリース。華のある舞台姿と柔軟な音楽性で、クラシックにとどまらぬ幅広いジャンルで活躍している。尚美学園大学客員准教授、二期会会員。

アルト 大田 亮子 Ota Akiko

名古屋音楽大学 音楽学部 声楽学科 首席卒業。同大学院 音楽研究科 声楽専攻 首席修了。在学中より、ヘンデル「メサイヤ」・メンデルスゾーン「エリア」など、数多くの演奏会に出演。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門 大学一般の部名古屋大会にて第一位。及び全国大会出場。大学院修了後、ミラノに留学し、現在は国際声楽アカデミー

「A・マントヴァーニ」において、K・ローヴァ女史の下、発声法を学びながら、イタリア・ミラノを中心に演奏活動中。ミラノでは、クザニ宮殿でのコンサートに毎月レギュラー出演する他、シチリアにてコンサートツアーを行う。水谷俊二、長野眞理子、M.レアール、K.ローヴァの各氏に師事。

テノール 真野 郁夫 Mano Ikuo

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。疋田生次郎氏、ジャンニ・ヤイヤ氏に師事。イタリアにて、演技方をパオロ・トレヴィージ氏に、発声をパリエ・ヴェントゥーリ氏に師事。第16回イタリア声楽コンクール入選。第29回日伊声楽コンクール第2位入賞。レナート・バルンボ指揮「ラ・ボエーム」のロドルフォでオペラデビュー。レナート・バルンボ指揮、リュリアーナ国立歌劇場「リゴレット」（マントパ公爵）、グイド・マリア・グイダ指揮、イタリア国立放送交響楽団「ルチア」（ノルマンノ）、小澤征爾指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団「魔笛」（僧侶II）、大野和士指揮、東京フィルハーモニー交響楽団「トゥーランドット」（パン）、「無口な女」（不審な男）、「ロミオとジュリエット」（テノールソロ）、沼尻竜典指揮、東京フィルハーモニー交響楽団「夜鳴きうぐいす」（日本からの使者I）、「イドメネオ」（大司教）、ジョン・ミュンフン指揮、東京フィルハーモニー交響楽団「イドメネオ」（大司教）に出

演。他に、「カルメン」（ドン・ホセ）、「蝶々夫人」（ピンカートン）、「カヴァレリア・ルスティカーナ」（トゥリッドゥ）、「椿姫」（アルフレード）、「マクベス」（マクダフ）、「仮面舞踏会」（リッカルド）、「トスカ」（カヴァラドッシ）、「コシ・ファン・トゥット」（フェランド）、「ドン・ジョヴァンニ」（ドン・オッターヴィオ）、「オテッロ」（カッシュ）などのオペラ、また、モーツァルト「レクイエム」、「C moll ミサ」、スカルラッチ「セシリア・ミサ」、バッハ「ヨハネ受難曲」、「C mollミサ」、ヘンデル「オラトリオ・メサイア」、シャルパンティエ「真夜中のミサ」、シュベルト「GDurミサ」、ロッシニ「ミサ・ソレムニス」、フランク「オラトリオ至福」、ドボルザーク「スタバトマテル」、ベートーヴェン「交響曲第九番」等に出演。NHK・FM「土曜リサイタル」、ニッポン放送「新日鉄アワー」に出演。1994年度文化庁芸術インターシップ研修員。日伊音楽協会会員。藤原歌劇団所属。

バリトン 呉 承容 Oh Sungnong

韓国慶北大学校芸術大学声楽科卒業。イタリアローマのサンタチェチリア音楽院に留学。エンツァ・フェラーリ氏とジュゼッペ・タデイ氏に師事。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団と日本イタリア協会の奨学生でイタリアに留学。チェコのオーストラヴァ国立劇場でソリストを勤める。モーツァルトの「レクイエム」やベートーヴェンの「第九」をはじめ、「椿

姫」「ラ・ボエーム」「魔笛」「道化師」「リゴレット」などで常に主役を歌う。長久手国際声楽コンクール優勝をはじめイタリア、ヨーロッパ各地のコンクールでも成果を収め、現在、韓国ソウル国立オペラ団の専属ソリストで活躍中。韓国慶北大学校芸術大学声楽科講師。音楽性、歌唱力、声、そして人格を兼ね備えた大型バリトン。

オーケストラ 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称「カポ」（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもありです。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」

を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにあって、最大の喜びは、一人でも多くのおみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。（団長・花村浩克）

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年12月の春日井市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に作られ、今年で17回目の演奏会を迎えております。毎年公募による新しい方々を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は60歳になるうかと、やや高いのですが、数年前から、中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。7月に市長の出席を仰

いで結団式を行い、毎週土曜日、吉川先生をはじめとするすばらしい先生方の指導の下、気持ちも新たに練習に励んでまいりました。慣れないドイツ語の発音にも苦勞しておりますが、ベートーヴェンの第九のテーマである、「人間はみな兄弟である」という歓びを我々自身も感じながら、演奏会においてくださる皆様方に、すこしでもその精神を感じ取っていただくとうと精一杯歌います。どうぞよろしくお願い申し上げます。（団長・須藤章夫）

〈市民の喜びと感動を歌う「春日井市民第九演奏会」へおいで下さい〉

「歓喜は神々の火花である」と私たちは、毎年、この「春日井市民第九演奏会」で歌ってきました。私たちの心をつなぐのは、多くの仲間と共に「喜び」の火花を感じたときです。さあ、そしていよいよ、春日井市民の最大の歓喜の源泉である恒例の「春日井市民第九演奏会」が始まります。今年もまた、国際色溢れるステージとなります。200名を越す合唱団と一緒に、春日井市民のおみなさまに、一年分の喜びと感動をまとめてお贈りする「春日井市民第九演奏会」です。市民のための、市民による、市民の「第九」に、ご家族おそろいでお出かけ下さい。お待ちしております。音楽監督・都築正道

※都合により出演者の変更がある場合があります。
※就学前のお子様の入場はお断り申し上げます。